

# コーディネーターだより

第13号 (令和5年1月)

姫戸在宅介護支援センター  
0969-58-3633  
生活支援コーディネーター 橋本

## どんどや

令和5年1月8日(日)

前もって竹を切り、組み、正月飾りを持ち寄り、無病息災を願って二間戸地区(今年は本郷担当)と牟田にて“どんどや”が行われました。



子供たちによる火入れ

牟田公民館前広場



コロナ禍でもどんどやの行事が出来ました。地区内でもめったに会えない方と会えるいい機会。ずっと残してほしいものです。



二間戸では今年、本郷地区の担当。婦人会の方達によりぜんざいが振る舞われ、あちこちで「美味しい」「団子が柔らかくてようできとる」「今年もよろしく」と笑顔で新年のあいさつが飛び交っていました。それぞれ、マイ箸とお椀を準備して楽しみに参加されてました。ご馳走様でした。



よかところ広場

## お知らせ

子ども食堂!

お弁当配達のご試行

食の面から子どもたちを支援：翔洋苑

社会福祉法人として「ユニット棟交流スペースを活用」して地域貢献を模索していた矢先、コロナ感染拡大があり事業展開が難しくなりました。できる範囲で市の子育て支援課と連携し「食の面から子供たちを支援していこう」とひかり保育園にも協力を仰ぎ冬休み期間最終日「学童」利用の7名にお弁当が届けられました。次回は春休みに予定。先々は「ユニット棟交流スペース」を活用した居場所作りの実現を目指して!

お礼の手紙が届きました



翔洋苑の厨房にて作ります。子供たちに喜んでもらえるようなメニューを選びました。初回はハヤシライス・カリフラワーサラダ・みかん。使い捨ての容器活用。「おいしかった!」と食の細かい子ども全ての児童が完食。スタッフの喜びもひとしおでした



## 地域活動

### 地区社協小地域ネットワーク

場所：各地区公民館  
時間：日中5件・夜4件

平成24年に独居世帯が増える中、孤独死を予防・独居高齢者の見守り取組が始まりました。一旦途切れた地区も民生委員の熱い想いで再開。現在、姫戸では9地区全域で2か月毎に活動中。基本的に推進員が集まり状況共有し、話し合っています。現在は区長の参加も加わり、小ネットの話し合い後に地区内の困り事や行事の取り決め等を話し合う場となっている地区も多くなっています。



元釜地区：老人福祉センター  
1/19(木) 18:30~

2023年



今年もいい天気恵まれて初日の出を白嶽から臨むことが出来ました。40名程の人が登頂されており、今年も明るい年になりそうな予感がありました。年初めの体力測定(階段上り)もクリアでき喜んでおります。今年も、どうぞよろしくお願いたします。

## 他町の取組紹介

☺すまいる笑店☺

大矢野町



### 登立・辺田公民館

「すまいる笑店」に来た子ども達は1日1すまいる(100円)分を無料で買い物することができる事ができる仕組みが目を引きました。



とても画期的で大人の寄付で賄うというステキな取り組みをされています。

大人も子どもも楽しめる取り組みはコロナも吹き飛ばしてくれるほんわかした気持ちになりました。

駄菓子屋さん

ママ友2人の思いが形になりました。

自分達が子供の頃に、駄菓子屋のおばちゃんたちに見守られ、安心して生活していた記憶があり、今では駄菓子の買える商店も減り、ふれあいの場所や楽しみの機会が奪われてしまったようで寂しくなった思いから、自分達にできる事はないかと思案されたそうです。



月1~2回予定 (日曜日・祝日)

初回：R4.12/18 (日)

10:00~16:00

## リモート運動

指導は無料配信

近い将来、少ない人数でもできる環境を整えたいものです。

1月26日(木) 14:00~15:30

新和町、宮南地区コミュニティセンターにおいてパソコンを活用し、宇城・小国・山都町・新和町の4カ所をつないで、リモートでの運動体験会がありました。小国は2名で参加。少ない人数でもつないで一緒に運動。

新和町



今回は戸外からのリモートでした。

運動は立っても・座ってもできる。自分の体力に合わせて自由に可能。休憩も挟んで水分補給の時間も調整して下さっています。

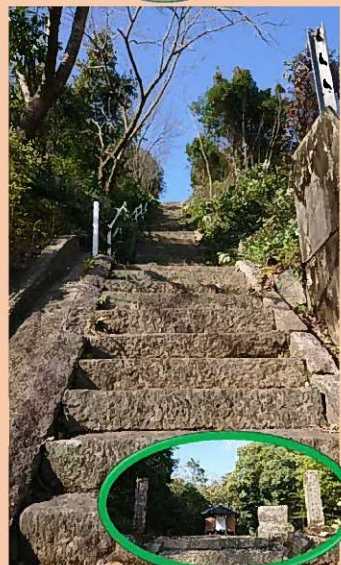
## 地域活動

R5.1.22(日)  
8:00~

- ①金毘羅宮参道周辺伐採
- ②自主防災訓練(消火栓)

永目

金毘羅宮参道周辺の立ち木の伐採と永目自主防災組織の活性化のための訓練、同日開催。早朝から住民の協力があり、瞬間に奇麗になった参道周辺。10時から場所を五社宮の消火栓付近に移動。消防団による取り扱い説明を受け、実施訓練があった。



金毘羅宮参道が明るく奇麗になりました



「緊急時、初期消火のできる人を育てる」ことを目的に消防団の指導と実施訓練。皆さん真剣でした。

※ 消火栓: 定期点検と設置場所の周知(回覧にて)予定



いざという時、頼りになるのは地域住民の助け合い!



お湯を注いで15分

防災食(保存食)について婦人会支部長より説明。作り方と食感を体験していただくため参加者全員へ配布。コロナ禍で家族が感染した時にも活用「美味しかった」との感想も聞かれた。



参加者: 39名



自主防災会長から、災害用寝袋10組が新たに備蓄用品として公民館に設置紹介